

Semin Immunol Pathol 29:115-122, 2007 June	Regulatory T cells and regulatory natural killer (NK) cells play important roles in fetomaternal tolerance	Saito S, et al	産婦人科
Am J Reprod Immunol 58:235-254, 2007 September	What is the role of regulatory T cells in the success of implantation and early pregnancy?	Saito S, et al	産婦人科
J Reprod Immunol, 76:30-39, 2007, December	Inadequate tolerance induction may induce pre-eclampsia	Saito S, et al	産婦人科
J Reprod Immunol 77:14-22, 2008, January	The balance between cytotoxic NK cells and regulatory NK cells in human pregnancy	Saito S, et al	産婦人科
Free Radic Res 41:73-81, 2007	Gene expression in enhanced apoptosis of human lymphoma U937 cells treated with the combination of different free radical generators and hyperthermia.	Wada S, et al.	歯科口腔外科
J Jpn Soci Comp Aid Surg 9:37-42, 2007	Application of optic surgical navigation system using non-invasive registration for the treatment of oral disease.	Wada S, et al.	歯科口腔外科
Oral disease 13:193-197, 2007	Pulp ablation therapy by inductive heating-heat generation characteristics in pulp cavity.	Wada S, et al.	歯科口腔外科
Clinical Nuclear Medicine, 32: 275-278, 2007.	Positron emission tomography for predicting malignancy of sinonasal inverted papilloma.	Shojaku H, et al	耳鼻咽喉科
Eur J Neurol. 2008;15(3):295-300	Differential diagnosis of cerebral infarction using an algorithm combining atrial fibrillation and D-dimer level.	Dougu N, Takashima S, Sasahara E, Taguchi Y, Toyoda S, Hirai T,	神経内科
Internal Med 2007;46:1275-1276	Cerebral microbleeds identified by diffusion weighted MR imaging in a case of acute ischemic stroke	Taguchi Y, Takashima S, Hirano K, Dougu N, Toyoda S, Tanaka K	神経内科
Mov. Disorders 2007;22(8):1202-1203	Dose-responsive dystonia (Segawa Disease)-like disease accompanied by mental retardation: A case report	Nagata E, Kosakasi A, Tanaka K, Segawa M, Fujioka H, Shintaku H, Suzuki N	神経内科
J Neurosci Res. 2007;85(5):954-966	Restoration of FcγR/Fyn signaling repairs central nervous system demyelination	Seiwa C, Yamamoto M, Tanaka K, Fukutake M, Ueki T, Takeda S, Sakai R, Ishige A,	神経内科
Eur J Neurol. 2007; 14(4):464-466	Novel mutation of the Notch3 gene in a Japanese patient with CADASIL	Oki K, Nagata E, Ishiko A, Shimizu A, Tanaka K, Takahashi K,	神経内科
J. Biol. Chem., 2007, 282(35):25177-25181	Constitutive activation of TAK1 by HTLV-I Tax-dependent overexpression of TAB2 induces activation of JNK-ATF2 but not IKK-NF-κB	Suzuki S, Singhirunnusorn P, Mori A, Yamaoka S,	検査部
J. Cell Biol. 2007, 176(5):695-707	Notch signaling is necessary for epithelial growth arrest by TGF-β	Niimi H, Pardali K, Vanlandewijck M, Heldin C-H, Moustakas	検査部
血栓と循環 2007, 15: 126-133	血栓と循環の検査法。トロンビン生成目安としてのTATとfibrin monomer 測定法とその意義	北島 勲	検査部
臨床病理 2007, 55 (3):262-271,2007	病院検査室で実践できる分子病態検査法開発、転写因子活性化検査の臨床応用に向けて	北島 勲	検査部
臨床化学 2007, 36(3):249-250	NF-κB研究の新展開	北島 勲	検査部

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 小林 正
管理担当者氏名	経営企画情報部長 中川 肇 放射線部長 瀬戸 光 薬 剤 部 長 足立 伊佐雄 総務企画グループ長 佐藤 忠弘 医療サービスグループ長 日合 三雄 診療報酬対策グループ長 奥田 豊子 医療安全管理支援グループ長 中島 克俊

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院事務部医療サービスグループ、病院事務部診療報酬対策グループ、薬剤部、看護部及び放射線部	カルテ等（電子カルテを含む。）の病歴資料は、1患者1ファイル方式による永久一元番号で分類し、外来カルテは最終受診日から8年以上、入院カルテは退院日から10年以上の保存を原則としている。 また、エックス線写真は、1患者1ファイル方式で、最終使用日から8年間の保存を原則としている。 これらは、コンピュータによる集中管理を行っている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務企画グループ人事労務チーム	/
	高度の医療の提供の実績	診療報酬対策グループ	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務企画グループ病院運営企画チーム	
	高度の医療の研修の実績	総務企画グループ病院運営企画チーム	
	閲覧実績	総務企画グループ病院運営企画チーム	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービスグループ	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービスグループ及び薬剤部	
確保規則の第9条の2及び第3条の確保状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理支援グループ	/
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理支援グループ	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理支援グループ	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理支援グループ	

	1 条の 11 各号 に掲 げる 体制	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理支援グループ	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理支援グループ	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理支援グループ	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理支援グループ	
			保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療安全管理支援グループ	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全管理支援グループ	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全管理支援グループ	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理支援グループ	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理支援グループ	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理支援グループ	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理支援グループ	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理支援グループ	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理支援グループ	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理支援グループ	

	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理支援グループ	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理支援グループ	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	総務企画グループ長 佐藤 忠弘
閲覧担当者氏名	総務企画グループ 病院運営企画チーム 波多野 貴大
閲覧の求めに応じる場所	総務企画グループ 病院運営企画チーム

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	66.2%	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算出根拠	A:紹介患者の数		7,064人
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数		4,105人
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数		1,304人
	D:初診の患者の数		14,740人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (1) 名 兼任 (15) 名 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. インシデントの収集・調査・分析、発生原因の究明及び防止対策に関すること。 2. 医療安全管理に係る病院内の巡視・点検・評価に関すること。 3. 医療安全管理に係る業務改善の提言・指導に関すること。 4. 医療安全管理に係る教育・研修・啓発に関すること。 5. 医療安全管理マニュアルに関すること。 6. その他の医療の安全管理に関すること。 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 病院における安全管理に関する基本的考え方 2. 安全管理委員会その他の組織に関する基本的事項 3. 医療に係る安全管理のための従業員に対する研修に関する基本方針 4. 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 医療従事者と患者様との間の情報の共有に関する基本方針 7. 患者様からの相談への対応に関する基本方針 8. その他医療安全の推進のための必要な基本方針 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理方針の策定及び推進に関すること。 2. インシデントの報告に関すること。 3. 医療安全管理の教育及び研修に関すること。 4. 医療安全管理対策の検討及び医療安全管理マニュアル作成に関すること。 5. 医療の質向上への取組みに関すること。 6. 重大なインシデントに係る調査及び対策に関すること。 7. 医療事故対応の意思決定・報告・広報に関すること。 8. その他医療安全管理に関すること。 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <p>春季・秋季医療安全管理等研修会、インシデント事例検討会、リスクマネージャー会議、医療安全推進のための講演会、医薬品・医療機器安全使用のための研修会</p> 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理室の専任スタッフが、インシデント報告書を毎日チェックし、3b 以上の報告書など重要事例に関して GRM が事前に検証し、医療安全管理室長及び医療安全管理室ミーティングに報告し、同室長が特別事例調査会を開催し事実経過把握と事故調査委員会開催の是非を検討のうえ病院長に報告。 ・ 医療安全管理室ミーティングでは、インシデント報告のうち院内全体に関わる内容を中心に、システム的な問題の有無を検討し、改善策を医療安全管理委員会の承認を経て、全部署に周知する。 ・ 各部署においては、リスクマネージャーが中心となって、発生の背景や内容、予防対策について部署全体でカンファレンスを行う。(ローカルルールの作成及び検討) ・ リスクマネージャー会議と事例検討会において、当該期間に発生した事例のうち 2 事例を選択のうえ発表し、質疑応答形式でディスカッションを行う。 	